

令和2年 9月28日

春日部市長 石川 良三 様
建設部(道路課・河川課) 様

地区名 下谷原地区自治会

地区長名 小川 寛 印

連絡先 048-737-9390

要 望 書

次の件で 防災上の要望をする。

要望内容 地区内主要路の路肩高さと歩道整備	予てから当地区防災管理にご理解戴き有難うございます。今後の事を考え ①タテの主要道路の(1-21号線)と中の濠道路(2-547, 548)と ヨコの秀和前道と新公園行の温泉前道の4本が東西南北に避難する主要道路。 課題は4本共に路面が低く、どの台風にも水が道路上に広がりバスも止まる。 この地区の環境がさいたま市の物流基地が出来て保水能力が低下し集中化。 縦2本横2本の非常ルートが無い状態となる。100mm安心プランだけでは 防災上も不足するのが現実。今後の被害が車だけでないようにしてほしい。
場 所	下谷原地区の東西南北の道路高と大沼運動公園地下管渠
要望理由 大沼公園の地下管渠作り	②この地区の台風や水害に対する敏感さは大きく市長の選挙前の資料を見ても 他地区の地下貯留施設の整備案が散見されている。 我々の大沼谷原地区には何もない。この際、地下に貯めることが有効ならば大沼運動公園を防災基地化して地下に貯留施設を作れば問題が解決する。 防災担当の警察や消防、新しくなる市役所の移動に乗り、併せて一大施設を作ったらどうか。人口減の春日部市が巻き返すのは大学等の若者と連動した インフラの整備について 強弱をつける事だ。自然の地盤は沈下している。
その他	・防災上の問題に加えて中の濠の澱みに手が付けられない現状を改善するには、上から下に水を流すしか澱みの改善は出来ない。昼間人口の多さは驚くばかりだ。学校の集中、老人施設と人も多くイオンモールを抜くぞ。